

## 第6回 NPO全世代フォーラム声明文

### 第6回 NPO全世代フォーラム

【共催：早稲田大学アジア太平洋研究センター】

平成30年5月19日(土)早稲田大学19号館711教室にて【NPO活動の財産基盤をいかに強化

するか?】を主要テーマとし、第6回NPO「全世代」フォーラムが開催された。

1、上記主要テーマに関してのパネルディスカッションには、深津 紘氏(NPO全世代 理

事)のコーディネーターのもと、岸本幸子氏(公益財団法人パブリックリソース財団専務

理事・事務局長)、堀田力氏(全世代代表理事、さわやか福祉財団会長)、工藤啓氏(全世

代理事、認定NPO法人育て上げネット理事長)、仁木崇嗣氏(ユースデモクラシー推進機構

代表理事)、田島沙也加氏(READY FOR)の5名が参加した。全体の総括を渡辺光一郎氏(N

PO全世代 参与、株式会社 第一生命会長)が行い、パネルディスカッションの幕を閉じた。

2、 NPO全世代の活動報告として

待機児童問題を解消する「病院内保育所」の地域開放については石濱人樹氏

「不定芽プロジェクト」については北野芳英氏

全世代会員の集いの場「アゴラ」のスタートについては宇井睦人氏

他のNPOとの連携については仁木崇嗣氏

「医師の偏在」についての報告、及びNPO全世代の認定資格獲得について尾身茂氏により行

われた。

3、 第6回NPO「全世代」フォーラムの参加者は、上記1、2、の議論を通して、以下【1】【2】【3】【4】【5】【6】について合意した。

【1】 NPO全世代の活動を長期に持続させるためには、寄付金や会費に頼るだけでなく、全

世代のミッションに合致する形での、収益事業について腰を据えた議論を開始すべき

である

こと。

【2】 認定 NPO 法人の資格獲得のため、全世代の会員 特に各理事は 賛助会員及び賛助団

体の数を増やすべく努力すること。

【3】 既に進行中の「不定芽プロジェクト」「アゴラ」「他の NPO との連携」についてはそ

れぞれ活動をこれからも持続すると共に、横の連携も模索すること。

【4】 「待機児童解消」プロジェクトについては行政府、医療関係者などとの協議を更に

強化していくこと。

【5】 全世代のホームページを今年度中にアップデートし、より広報力を高めていくこと。

【6】 以上【1】【2】【3】【4】【5】の項目については、平成 30 年 11 月 10 日(土)に予定されている第 7 回 NPO 全世代フォーラムに進捗状況を報告すること。

以上